

葛尾村には素敵な 4つの愛がある 第14号



葛尾村教育委員会

「出会い」は「出愛」。一人一人との出会いを大切に

出愛

子どもたちと
ともに笑い
ともに夢を
語り合おう



名文との出逢い



都路こども園のみなさんをお招きして



富岡小学校三春校、富岡校、葛尾小の3校合同持久走



「あぜりあ」に定期的に展示している子どもたちの学習作品

「ふれあい」は、子どもたちに勇気と思いやり、耐性を育む

“愛”を受け取った人は、“愛”を与える人になる

人は、夢を育て

夢は、人を育てる

夢を持って生きる大人の姿が

子どもたちにも、勇気と自信を

誇りと夢を育てていくのです

ともに夢を語り合いましょう



みなさん、いつも
ありがとうございます



助け愛



赤い羽根共同募金に協力



駐在さんをお呼びして、先生方も冬道の
安全運転について研修会



学び愛



只見中学校を訪問して交流学習

山木屋中学校とのオンライン交流



「言葉は生きている」ことを十分に噛みしめて

私が出会った4つの愛



活気あふれる村にしてい

葛尾中学校 渡辺 さくらさん

総合的な学習の時間に、葛尾村の地域福祉センターのみどり荘を訪問し、模造紙四枚分の大きな壁飾りを贈った。

中学生四人で作成した。一人ずつ春夏秋冬をテーマにした短歌を書き、貼り絵で飾ったものだ。私は「冬の空 澄んだ空には きらきらとどこにあるかな かわいい子犬座」という短歌を添えた。

この壁紙を見るたびに、笑顔になってほしいと願いを込めた。帰り際に「また来てね」という温かい言葉と一緒に、利用者の方に手紙を渡された。そこには「さくらちゃん、受験頑張っ

元気を届けたつもりだった私が、逆に励まされてしまった。これから地域の方々に恩返しができるよう、葛尾村をもっとと活気あふれる村にしていきたい。若い私たちが、頑張る番だ。

* 福島民報の「みんなの広場」に掲載されました



* 写真の何枚かは、葛尾幼小中学校HPのものを使わせてもらいました

かつらお「4つの愛」推進プロジェクトの思い

年が改まって一月が経過いたしました。今年の冬は、寒波が繰り返し訪れ、日本海側は大変な大雪に見舞われています。収まっていたかに見えたコロナも、お正月明けから第六波が押し寄せてきています。寒さにも、コロナにも注意していきたいものです。

冬来たりなば、春遠からじ

そのような中で、少しずつですが日は長くなってきています。今週二月四日は「立春」。まだまだ寒い日が続きますが、この「立春」という言葉には、心躍る響きがあります。春はもうすぐ、とまではいかなくとも、そう遠い先ではないという感じでしょうか。

寒の時期も、余寒から春寒へと変わり、三寒四温と、日本の冬は春を連れてくるのに、いろいろな手順を踏みますが、そういった中でも、春は確かに近づいてきます。冬来たりなば、春遠からじ。つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期はいつか必ずやってくる、そう信じてまいりましょう。

葛尾村教育委員会教育長 小野田 敏 之